

## 海外感染症流行情報(2013年10月)

東京医科大学病院 渡航者医療センター

### ・アジアでデング熱の流行が続く

インドやパキスタンなど南アジアでデング熱の患者数が増加しています。インドでは10月下旬までに3万8000人の患者が確認されました(米国CDC-Dengue Map 2013-10-20, 21)。とくに南部のカルナータカ州などで患者数が多くなっていますが、デリーでも約4000人の患者が発生している模様です。また、パキスタンのカラチでも2500人の患者が確認されています(米国CDC-Dengue Map 2013-10-21)。

東南アジアでは10月にマレーシア、シンガポール、フィリピン、ベトナムで患者数が増えています(WHO Western Pacific Region 2013-10-16)。とくにシンガポールで今年は1万7000人の患者が発生しており、これは昨年に比べて5倍の数になります。ラオスでも今年は昨年の6倍となる4万人以上の患者が発生していますが、流行は次第に沈静化している模様です。タイでも今年は13万人以上の患者が確認されています(米国CDC-Dengue Map 2013-10-21)。

台湾でも南部でデング熱の患者が増加しており、屏東県では今年165人の患者が確認されました(厚生労働省検疫所HP 2013-10-24)。

なお、今年、日本国内でデング熱と診断された輸入症例は10月中旬までに203人となりました。これは昨年(1年間で229人)に比べてやや多い数値です(国立感染症研究所 <http://www0.nih.go.jp/vir1/NVL/dengue.htm>)。

### ・MERS コロナウイルスの患者数は微増

MERS コロナウイルスの累積患者数は10月25日までに144人(62人死亡)となり、最近1か月間で16人の増加になっています(米国CDC-MERS HP 2013-10-25)。このうち15人はサウジアラビアで発生しており、残る1人はカタールでの感染例です。

なお、サウジアラビアでは10月中旬から大巡礼が始まっており、世界中のイスラム教徒がこの国を訪問しています。大巡礼開始後、中東以外の国で患者発生は報告されていませんが、今後も厳重な監視が必要です。

### ・鳥インフルエンザの流行状況

10月中旬、中国の浙江省で2か月ぶりに鳥インフルエンザ(A/H7N9)の患者が2名発生しました(WHO Global Alert and Response 2013-10-16, 24)。気温の低下とともに流行の再燃が懸念されており、中国への滞在者には引き続き注意を喚起する必要があります。

カンボジアでは鳥インフルエンザ(A/H5N1)の患者発生が続いています。最近2か月で4人の患者が確認されており、今年は累積で21人(うち11人死亡)の患者数となりました(WHO Western Pacific Region 2013-10-22)。

#### ・ポリオの流行状況

東アフリカのソマリアでは今年4月からポリオの流行が発生しており、10月上旬までに患者数は175人になりました(米国 CDC Traveler's Health 2013-8-22)。隣国のケニア、エチオピア、南スーダンでも患者が散発しています。これらの国に滞在する際には、ポリオワクチンの追加接種を検討ください。なお、10月上旬に中東のシリア東部でもポリオの流行が発生した模様です(WHO Global Alert and Response 2013-10-19)。シリアは内戦中で詳細な情報は不明ですが、隣国にも流行が波及する可能性があり、今後の注意が必要です。

#### ・中米でのコレラの流行

メキシコで12年ぶりにコレラの流行が発生しました。今年の9月から10月中旬までに171人の患者が確認されており、首都メキシコシティの北東にある Hidalgo で多くの患者が発生しています(WHO Global Alert and Response 2013-10-19)。

カリブ海のハイチでは、2010年におきた大地震の後にコレラの流行が発生し、今までに累積で68万人の患者が確認されました(検疫所 HP 2013-10-21)。隣国のドミニカでも3万人以上の患者が発生しています。両国での流行は今も続いています。最近では沈静化の兆しがみられている模様です。